

2012年2月期 決算説明会 イオンディライト株式会社

代表取締役社長 梅本 和典

2012年4月13日



目次

§1 2011年度の実績

§2 2012年度の取り組み

§3 2012年度の業績予想

§4 参考資料

§1 2011年度の実績



業績について

過去最高益を達成

1. 売上高は前年比**28.6%**増
2. 営業・経常・当期純利益は**8期連続増益**

単位:百万円

	2012年2月期				
	実績数値	売上比 (%)	前年比 (%)	前年差	公表比 (%)
売上高	219,797	100.0	128.6	48,892	103.2
営業利益	13,762	6.3	114.4	1,731	96.2
経常利益	13,784	6.3	114.0	1,694	96.4
当期純利益	6,912	3.1	106.4	416	90.9

セグメント別売上高

建設施工事業、前年比**173.6%**
年間を通じて省エネ関連工事が好調

単位:百万円

	2012年2月期			2011年2月期	
	売上高	売上比 (%)	前期比 (%)	売上高	売上比 (%)
設備管理事業	42,147	19.2	105.3	40,019	23.4
清掃事業	39,852	18.1	96.9	41,142	24.1
警備事業	32,235	14.7	100.5	32,088	18.8
建設施工事業	28,513	13.0	173.6	16,420	9.6
資材関連事業	36,730	16.7	196.2	18,718	11.0
自動販売機事業	32,280	14.7	187.8	17,188	10.1
サポート事業	7,980	3.6	151.4	5,271	3.1

※資材関連、自動販売機事業の実績については2010年度下期から寄与しております。

5

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



(要約)連結貸借対照表

連結貸借対照表

単位:百万円

	2012年 2月29日現在	2011年 2月28日現在	増減額		2012年 2月29日現在	2011年 2月28日現在	増減額
流動資産	72,486	64,524	7,962	流動負債	33,643	30,724	2,918
固定資産	20,322	20,100	222	固定負債	983	1,012	▲28
有形固定資産	3,773	3,756	17	負債合計	34,626	31,737	2,889
無形固定資産	12,272	11,577	694	純資産合計	58,182	52,887	5,295
投資等	4,276	4,766	▲489	負債・純資産合計	92,809	84,624	8,184
資産合計	92,809	84,624	8,184				

連結会社の異動状況について

新規連結※エイ・ジー・サービス(株)は2011年3月1日残高、(株)カジタクは2011年4月1日残高の貸借対照表の数値を合算

エイ・ジー・サービス株式会社

株式会社カジタク

FMSソリューション株式会社

資産 2,183百万円増加

負債 1,724百万円増加

純資産 459百万円増加

6

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



(要約)連結キャッシュフロー計算書

連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

単位:百万円

	2012年2月期 累計	2011年2月期 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,639	6,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲10,051	▲3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,722	▲1,321
現金及び現金同等物の増減額	▲3,137	2,472
現金及び現金同等物の期首残高	12,317	7,873
現金及び現金同等物の期末残高	9,179	12,317

営業活動CF

税引前当期純利益	12,977
減価償却費及び のれん償却費	2,299
売上債権	▲1,708

投資活動CF

関係会社消費寄託金 の寄託と返還	▲8,400
子会社株式取得によ る支出	▲1,216

財務活動CF

配当金支払	▲2,205
-------	--------

7

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



各マーケットでの取り組み

①大都市圏

- 家事支援サービスに強みを持つ(株)カジタクを連結子会社化
- 小型店舗のトータル管理に強みを持つエイ・ジー・サービス(株)を連結子会社化

②環境負荷低減

- 震災以降、省エネ需要が更に拡大し、省エネ関連工事前年比3.5倍
- 平成23年度省エネ大賞において経済産業大臣賞(節電賞)を受賞

③アジア

- 海外事業の加速に向け「中国事業責任者」、「アセアン事業責任者」を配置
(中国 北京に駐在) (マレーシア クアラルンプールに駐在)
- グループ外のお客さまも含め、中国での受託物件を16店舗に拡大
- ベトナムでの事業展開を見据え、ホーチミン市に駐在員事務所を設立

8

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



その他の取り組み

(1) 総合FMSへの取り組み

- IT新会社「FMSソリューション株式会社」を設立
 - 役割①当社グループに対してIT運用による間接コスト削減の実施
 - ②外部に向けた総合FMSビジネスインフラの開発
- 提供する総合FMSメニューの拡充
- ソリューション営業への着手

(2) 収益性の改善への取り組み

- 業務の効率化に向けたBPRを推進
- TV会議の活用、Web会議の導入による旅費交通費の削減

総合FMS営業の成果《2011年度下期新規契約先》



●新規契約先

工場・研究所	Canon様(取手事業所 他2箇所)
タワーマンション	分譲マンション品川Vタワー様
スポーツクラブ	メガロスガーデン様(浜松店)
複合施設	亜太大厦(アジア太平洋ビル)様
商業施設	ビックカメラ様(名古屋西店)
商業施設	東急ハンズ様(札幌店)

写真は、①亜太大厦(アジア太平洋ビル)様[中国]
 ②メガロスガーデン様(浜松店)
 ③分譲マンション品川Vタワー様
 ④東急ハンズ様(札幌店)
 ⑤ビックカメラ様(名古屋西店)

§2 2012年度の取り組み



3つのマーケットと2つのシフト

3つのマーケット

1. 大都市圏マーケット

2. 環境負荷低減マーケット

3. アジアマーケット

+

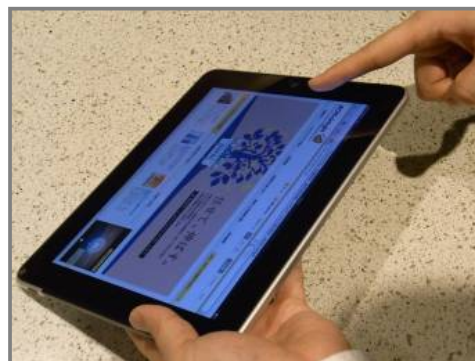
新たに追加した概念
2つのシフト

4. デジタルシフト

5. シニアシフト

4. デジタルシフト

- (1) IT専門化に向けた新会社の設立
- (2) ITを活用した新たな取り組み



5. シニアシフト

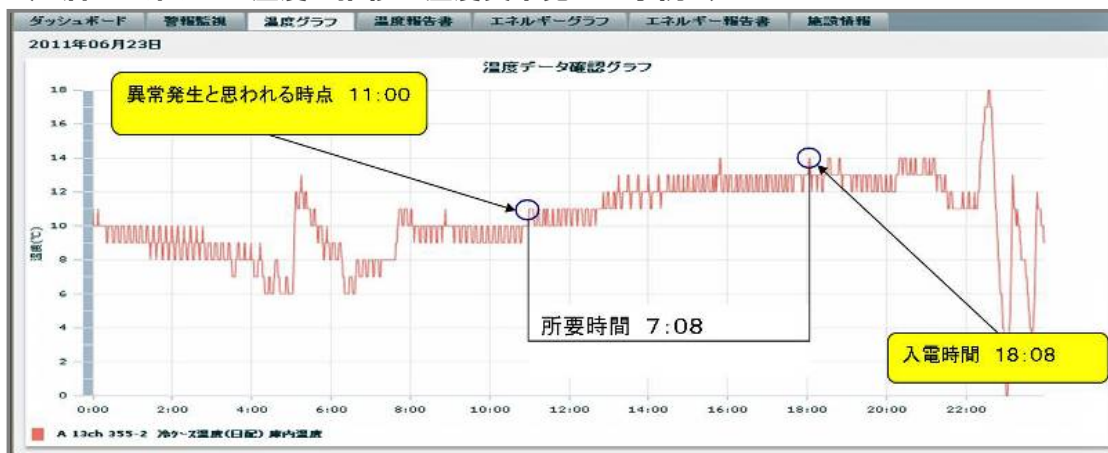
- (1) 各事業において、現状の仕様・サービスを見直し、新たな取り組みを検討
- (2) カジタクを中心としたBtoBtoCモデルの構築

①大都市圏マーケット

1. 非常駐型小型店ビジネスモデルの構築

(1) 小型店の遠隔監視モデル(故障予知)を構築

(A店での冷ケース温度の推移 - 温度異常発生 の事例 -)



①大都市圏マーケット

2. BtoBtoCの総合FMSモデルの構築

- カジクラウド
- (1) 「家事玄人」の拡販とサービスの利便性向上
 - (2) マンションコンシェルジュ事業の拡大

(家事代行サービスを
パッケージ化した家事玄人)



(マンションコンシェルジュ)



15

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



×

AEON delight

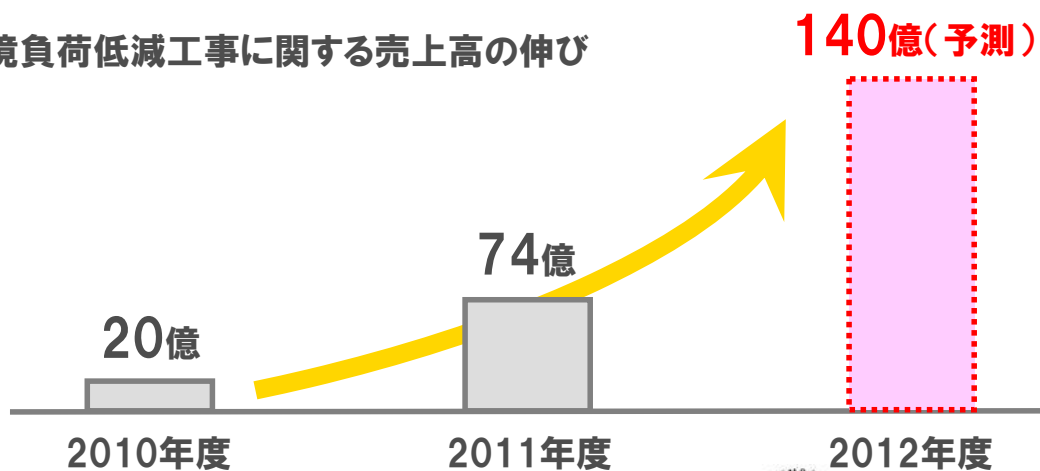


②環境負荷低減マーケット

1. LED拡販体制の強化

- (1) イオングループ内外へのLED拡販
(圧倒的な価格競争力をつける)
- (2) アライアンスモデルを国内とアジアで構築

●環境負荷低減工事に関する売上高の伸び



16

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



×

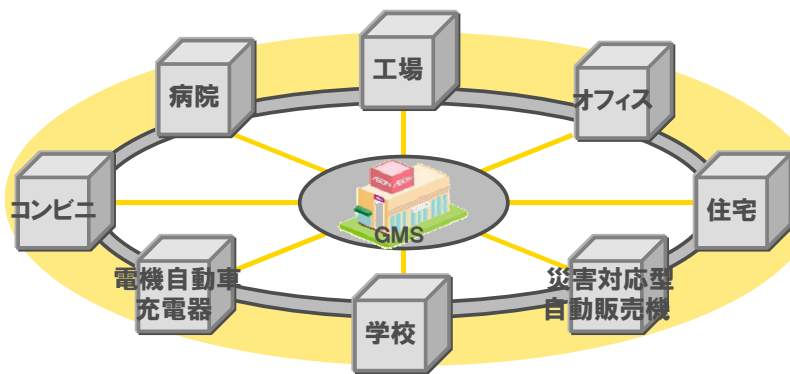
AEON delight



②環境負荷低減マーケット

2. スマートコミュニティ化に向けた取り組み

- (1) BEMSアグリゲータとして事業の拡大
- (2) GMSを核としたエネルギー管理体制の構築



イオン各店舗を※CEMSとして展開

※CEMSとは、コミュニティ・エネルギー・マネジメント・システムの略称

17

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



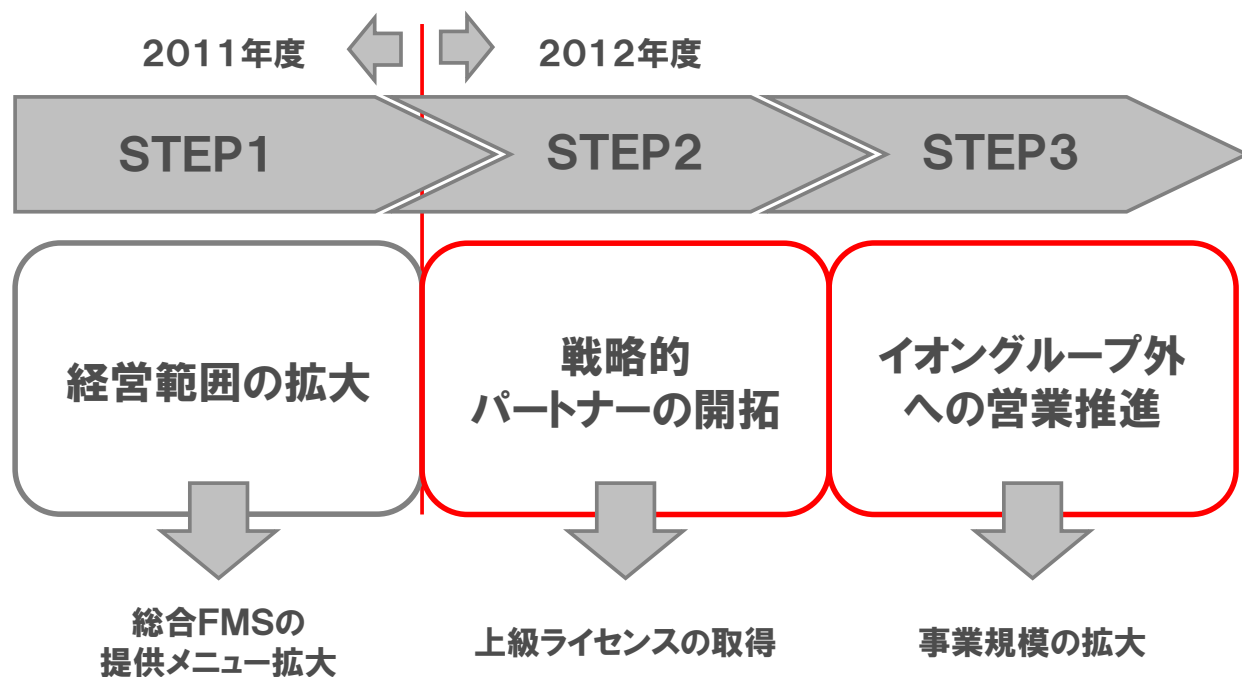
×

AEON delight



③アジアマーケット

1. 中国における総合FMS事業の拡大



18

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



×

AEON delight



③アジアマーケット

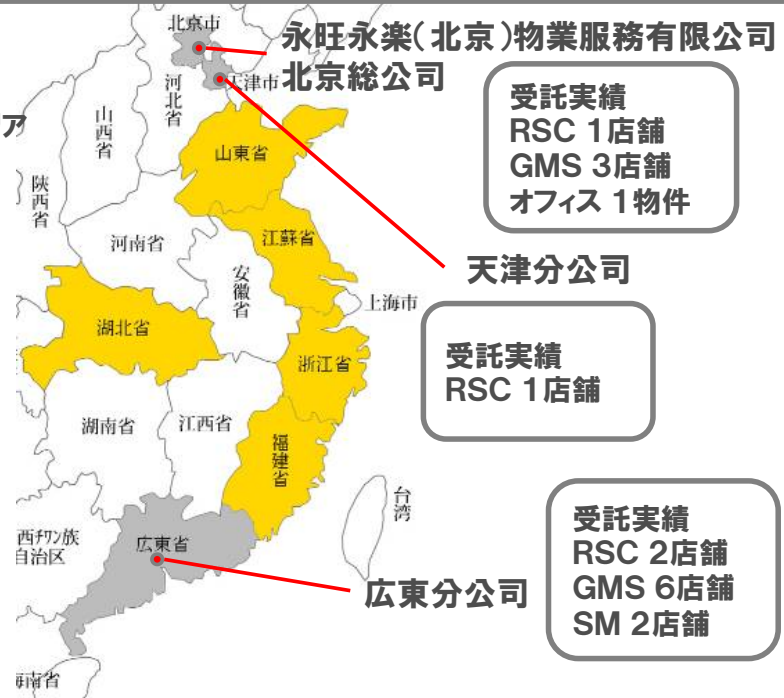
2. 中国におけるエリア展開戦略

凡例

- 既進出済みエリア
- 2012年度展開計画エリア

● 新たな展開計画エリア

- 山東省
- 江蘇省
- 浙江省
- 福建省
- 湖北省



19

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



③アジアマーケット

3. アセアンでの現地法人設立



20

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



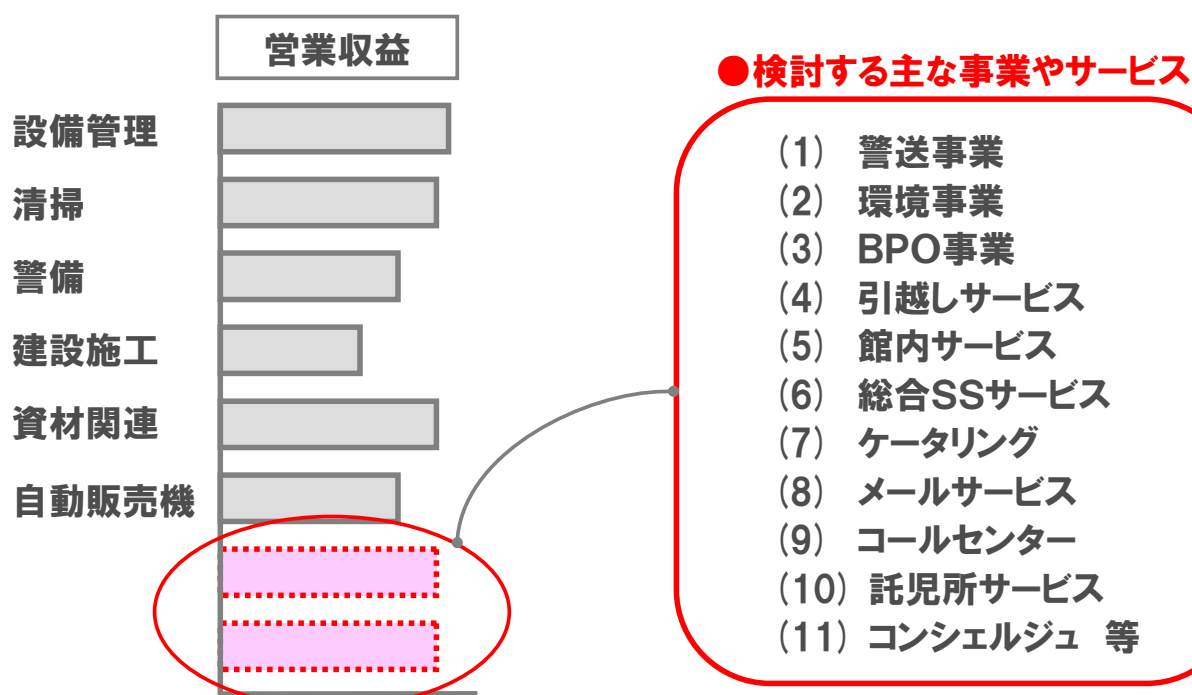
総合FMSへの取り組み《専門性の追及》

主力6事業の取り組み

設備管理	- 常駐管理から遠隔管理へ、モニタリングシステムを構築
清掃	- 病院清掃でのバクテリアコントロールなど新清掃手法の開発 - セラミック床材や節水型トイレシステムの開発
警備	- 機器と人が融合したセキュリティスタイルの開発 - アテンダーな働き方をする総合接客サービスの導入
建設施工	- スマートコミュニティなど次世代に向けたシステムの構築
資材関連	- 目玉商品の開発と海外も含めた商品調達の見直し - 首都圏における物流網の構築など物流改革の実施
自動販売機	- 付加価値自販機サービスの開発・実験

総合FMSへの取り組み《総合力の強化》

他社との協業やM & Aによる事業開発



生産性向上に向けた業務の効率化への取り組み

1. IT装備率を高める

- (1) 事業の競争優位性向上
- (2) モバイルネットワーキングによる生産性の向上

2. ソリューション営業スタイルへの転換

- (1) お客様へ見える化したプレゼンテーション手法の強化

3. BPRによる業務改革

- (1) 中国へBPO新会社設立
- (2) 原価改善の実施
- (3) 管理部門のスリム化を推進

23

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



AEON delight



§3 2012年度 業績予想

24

2012年度 業績見通し

単位:百万円

	2013年2月期通期予想			2012年2月期実績	
	金額	売上比 (%)	前期比 (%)	金額 (実績)	売上比 (%)
売上高	260,000	100.0	118.3	219,797	100.0
営業利益	16,600	6.4	120.6	13,762	6.3
経常利益	16,600	6.4	120.4	13,784	6.3
当期純利益	8,700	3.3	125.9	6,912	3.1

25

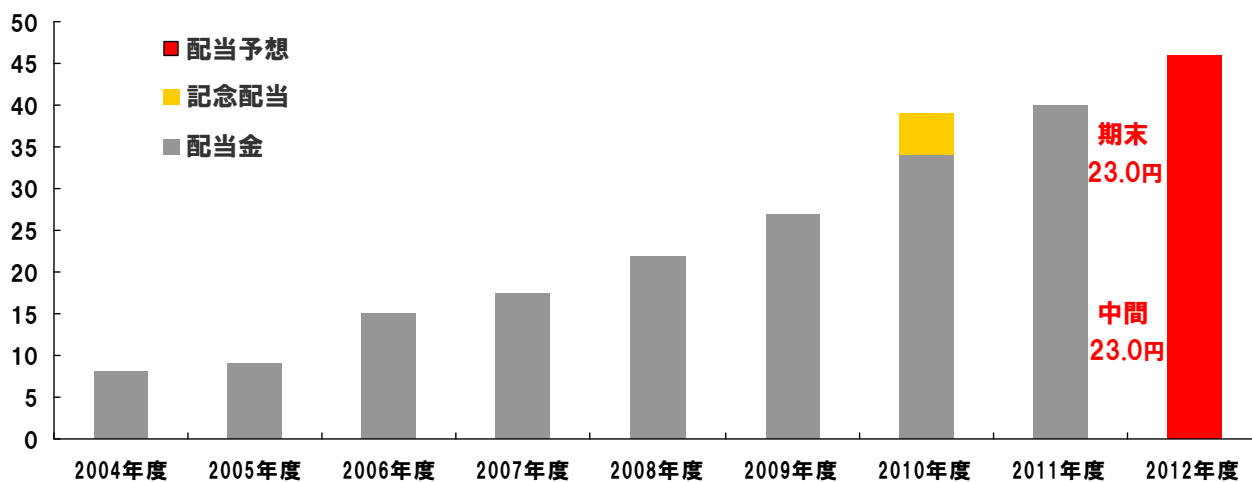
Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



株主還元について

2005年度以降**8期連続**の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度 予想
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。

26

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



§4 参考資料



損益推移

単位:百万円

	2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度	
	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)
売上高	56,153	86.0	55,749	99.3	54,665	98.1	62,323	114.0	111,170	178.4
営業利益	2,116	54.1	1,686	79.7	2,504	148.5	2,949	117.8	5,576	189.0
経常利益	2,110	53.6	1,697	80.5	2,511	147.9	2,953	117.6	5,485	185.7
当期純利益	1,132	—	148	13.1	860	580.6	1,324	153.8	2,998	226.4

単位:百万円

	2007年度		2008年度		2009年度		2010年度		2011年度	
	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)	実績	前期比 (%)
売上高	137,519	123.7	145,690	105.9	140,299	96.3	170,905	121.8	219,797	128.6
営業利益	8,330	149.4	9,946	119.4	9,970	100.2	12,031	120.7	13,762	114.4
経常利益	8,186	149.2	9,812	119.9	9,912	101.0	12,089	122.0	13,784	114.0
当期純利益	4,379	146.1	4,876	111.3	5,466	112.1	6,495	118.8	6,912	106.4

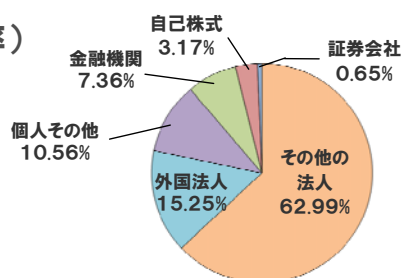
大株主の状況および所有者区分(比率)

大株主の状況 所有比率は発行済株式に対する比率です。株式数は千株未満を切り捨て、比率は小数第3位を四捨五入しております。

順位	株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
1	イオンリテール株式会社	23,261	42.94
2	イオン株式会社	9,103	16.81
3	ジェービー モルガン チェース バンク 385174	2,086	3.85
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,074	1.98
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	752	1.39
6	イオンディライト従業員持株会	682	1.26
7	イオンディライト取引先持株会	621	1.15
8	メロン バンク エヌエー トリーティ クライアント オムニバス	612	1.13
9	ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカUNT	512	0.95
10	ビービーエイチ ファイデリティ ロー プライズ ストック フアND (プリンシパル オール セクター サブポートフォリオ)	475	0.88

データは2012年2月29日現在

所有者区分(比率)



29

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



経営指標

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
EPS(一株当り当期純利益)	※122.92円	137.79円	142.56円	131.81円
ROE(自己資本当期純利益率)	19.89%	18.91%	15.47%	12.55%
ROA(総資産当期純利益率)	10.11%	11.19%	9.75%	7.79%
売上高経常利益率	6.74%	7.06%	7.07%	6.27%
売上高純利益率	3.35%	3.90%	3.80%	3.15%
総資本回転率	3.02回	2.87回	2.56回	2.48回
自己資本比率	54.15%	64.22%	62.32%	61.92%
1株当たり純資産	※669.28円	787.84円	1,005.62円	1,095.59円
PER(株価収益率)	10.29倍	8.83倍	10.57倍	11.62倍
PBR(純資産倍率)	1.89倍	1.54倍	1.50倍	1.40倍
(ご参考)期末株価	1,266円	1,216円	1,507円	1,532円

※印は株式分割後の指標で表示しております。
※数値は小数第3位を四捨五入しております。

30

Copyright ©2012 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.



本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。 ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

- ◇全て連結を対象として記載
- ◇記載金額は百万円未満を切り捨て
- ◇比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)

IR担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高橋(タカハシ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返信用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2012年4月13日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。